

吉井公民館だより

No.68 冬号

2025年(令和7年)12月19日発行



＜発行元＞

赤磐市立吉井公民館事務局

〒701-2503 赤磐市周匝142

ライフプラザ吉井内

TEL/086-954-1379

FAX/086-954-9201

Mail/ yoshii-komin@city.akaiwa.lg.jp

子どもの頃に比べて、1年がものすごく早く感じられます。やらなきゃいけないことも多くなって、時間がちっとも足りません。それでも、趣味や興味のあることに使う時間は大切にしたいものです。気分がリフレッシュできて元気が出ます。

公民館まつりでは、公民館グループや地域の皆さんが日ごろの成果をステージ発表や作品展示で披露され、大勢の方にお越しいただき盛況に開催できました。また、中高生ボランティアの皆さんも司会や焼きそばの実演販売で盛り上げてくださいました。

これからも、地域の皆様のお力をお貸しいただきますよう、どうぞよろしくお願いいたします。

また、新規グループ登録希望の方がおられましたら、お気軽にご相談ください。



吉井公民館まつり 10月25日、26日開催

ステージでは会場一体となって炭坑節を踊り盛り上がりました！



実施報告

健康料理教室 11月13日(木) 開催
～すぐ使える**防災レシピ**～



ポリ袋に食材と調味料を入れ、鍋で沸かした湯で加熱する調理方法です

パッククッキングで作りました
☆ツナピラフ
☆さば缶と大根のみそ煮
☆ジュリエヌミルクスープ

実施報告

スマホ講座 (水) 開催

9月24日

グーグルマップを使いこなそう

10月29日

スマホで防災

11月26日

You Tubeで検索

暮らしをより便利に！

楽しみを増やそう！

皆さん毎回熱心に

取り組んでいます

実施報告

ふるさと探訪 11月19日(水) 開催
～**是里・黒本**の人物とゆかりの地を巡る～



血洗の滝

「血洗の滝」や「宗形神社」、「和田山聖観音寺無量院」を訪れゆかりの人物について学芸員から説明を受けました

黒本に生まれた直原玉青の「伝説血洗瀧」はライフプラザ吉井のギャラリーで鑑賞することができます



次回開催は**12月24日**です！

出場チーム募集!

市制20周年記念 ～つちのこに夢とロマンを求めて走り抜け!!～



第26回 吉井つちのこ駅伝大会 令和8年 2月15日(日)開催!



- ◆ 申込受付期間 **12/8(月)～1/19(月)午後5時まで**
- ◆ 募集チーム **50チーム(先着順)**

<募集部門>

- ①小学校低学年(1～3年生)の部(男女混合可)
- ②小学校高学年(4～6年生)男子の部
- ③小学校高学年(4～6年生)女子の部
- ④一般男子の部(中学生以上)
- ⑤一般女子の部(中学生以上)

※②～⑤で男女混合の場合は男子の部とする

※小学生低学年、高学年混合の場合は高学年の部とする



<チーム編成>

1チーム7人以内
(選手5人、控え2人以内)

小学生以上の赤磐市在住・在勤・在学者が含まれているチーム

<コース>

- 1区 城南小～周匝保育園前～小宮山酒店横～堤防(周匝)
- 2区 堤防(周匝)～サイクリングロード～堤防(福田)
- 3区 堤防(福田)～高田川折返～堤防(福田)
- 4区 堤防(福田)～堤防(周匝)～西山組作業所～諏訪神社前
- 5区 諏訪神社前～小宮山酒店前～周匝保育園前～城南小

※詳細については吉井公民館へお問い合わせください

ふるさと探訪 ～直原玉青と郷土の風景～

直原玉青(本名・正)は明治37年(1904)に山方村黒本(赤磐市黒本)に生まれ、3歳の時に一家で淡路島へ転居しました。書や絵の上手な父の影響を受け絵画に興味を持つようになり、大阪美術学校へ入学し南画家の矢野橋村に師事し絵を学びました。昭和5年(1930)、帝国美術院展に初入選を果たして以降、日本美術展覧会での入選の他、数多くの賞を受賞しました。社会法人日本南画院の創立に参加し、理事長・会長職を務めるなど、南画の第一人者として活躍しました。かたわら、俳人高浜虚子の末弟として俳誌「ホトギス」同人となり多くの俳句を詠み、また南禅寺管長紫山全慶老師に師事し、禅僧として黄檗宗国清寺を復興しました。玉青は生涯、俳句・南画・禅の道を一途に求め続けました。平成11年(1999)吉井町名誉町民、平成17年(2005)赤磐市名誉市民となり、同年9月30日に101歳で亡くなりました。本年は没後20年にあたります。

玉青は平成2年(1990)4月10日・11日、6月18日に吉井町を訪れ、菩提寺の和田山聖観寺無量院をはじめ、血洗の滝、是里本村山景、福田の元高瀬舟の渡し場など、郷土の風景をスケッチしました。これらのスケッチを基に描かれた風景画は平成11年に吉井町へ寄贈され、現在、ライフプラザ吉井の2階に常設展示されています。繊細なタッチと豪放な構図で描かれた郷土の風景をぜひご覧ください。

(文 山陽郷土資料館学芸員)



『伝説血洗瀧』(ライフプラザ吉井所蔵)



福田の渡し場をスケッチする直原玉青
(『広報よいい』平成2年6月号より転載)



ライフプラザ吉井2階 ギャラリー
直原玉青常設展示